



しろうさぎ

S H I R O U S A G I



TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください



Contents

特集 Special Issue

『創刊50号記念特集 しろうさぎで振り返る10年
～島根大学病院のこれまでとこれから～』

📎 こんなに変わりました！島根大学病院

📎 インタビュー

- 歯科口腔外科学講座 …………… 関根 浄治 教授
- 形成外科 …………… 林田 健志 講師



- * プロジェクトM
- * 在宅医療を支えます
～最初から「在宅」をあきらめないで～
- * 私のここだけの話
- * 留学生の国自慢
- * イベントなどのお知らせ
- * ニュース&トピックス

創刊50号記念特集記事
「しろうさぎで振り返る10年～島根大学病院のこれまでとこれから」
こんなに変わりました! 島根大学病院



2007年から2017年の10年間で診療科は27から34に増えました!
職員数は1,522名まで増えました。
先進医療の承認数は、現在は11件まで増えました。

「しろうさぎ」と「病院ニュース」は
双子の広報誌

「しろうさぎ」は創刊50号を迎えました。当初は「病院ニュース」として職員向けの広報誌として発行していました。

その後、「しろうさぎ 病院ニュース」と名づけられました。2013年に二つに分かれ、「しろうさぎ」は主に患者さんや地域住民の方向け、「病院ニュース」は主に県内の医療関係者向けに情報を発信しています。



2005年しろうさぎ1号(旧病院ニュース)誕生

2011.6 新病棟(C病棟)完成!
.9 認知症疾患医療センター設置

2011

2010



2009.10 地上ヘリポート完成

2009

2009.4 病院再開発事業スタート!

2008 2008.3 ISO14001拡大認証登録を取得
病院機能評価ver5.0の認定

2007

2007.3 働きやすい病院認定



2006 2006.4 病院敷地内にうさぎ保育所開設



2005

- 2017.1 アレルギーセンター設置
- .3 だんだんハウス(入院児童等家族宿泊施設)完成
- .6 形成外科設置
先端がん治療センター設置
- .7 総合ハートセンター設置
高度外傷センター棟完成

2017



2016

- 2016.4 再生医療センター設置
高度外傷センター設置
周産期母子医療センター設置
- .6 原子力災害拠点病院指定

2015

- 2015.4 リハビリテーション科設置
- .12 救急科設置
IBDセンター設置

2014

- 2014.4 がん患者・家族支援サポートセンター開設

2013.9

みらい棟完成

2013

2013.4 病院リニューアルフルオープン

2013.6 病院再開発完成

- 外来コンシェルジュの配置
- 入退院センターの設置
- 各種最新検査機器の導入
- 外来化学療法室の拡充
- 災害対応型立体駐車場の建設
など

2012.10

救命救急センター開設



外来コンシェルジュ



最新検査機器



外来化学療法室



入退院センター



災害対応型立体駐車場

地域のみなさんの健康を毎日 24 時間お守りするのが島根大学病院の使命です。

これからも職員が力を合わせ、先進医療の実施と「まごころ」で安全・安心の医療を皆様に提供してまいります。

歯科治療から口腔病変の一貫治療へ

歯科口腔外科 せきね じょうじ 関根 浄治 教授

着任10周年を迎えられた歯科口腔外科学講座 関根教授にお話を伺いました。



歯科口腔外科のこの10年

歯科医師といえば歯科治療の印象が強いと思いますが、われわれ歯科口腔外科では、口腔、顎、顔面にかかわるさまざまな外科治療を専門としています。医学部の教育でも、歯科口腔外科が扱う解剖についての講義に力を入れ、卒業試験にも口腔外科を入れてもらいました。医学英語も担当し、学会ではどんな英語を知っていたら助かるか、自分の経験を交え、これから生きる英語を伝えるようにしています。

若手歯科医師には、さまざまな分野・領域の認定医、専門医の資格を取得することを勧め、診療レベルの向上に努めています。医療スタッフや事務職員も一つのチームとして、研究の成果を上げています。学術論文の発表は380編以上に上り、国内外から注目を集めるグループとなっています。

診療については、大学病院で行わなければならない治療（口腔がんの手術、入院中の患者さんの口腔ケア

など）に特化し、退院後は歯科医師会の先生にご紹介し、一般歯科治療と口腔衛生管理を行っていただくよう連携しています。また、主要な関連病院をテレビ会議で繋いでカンファレンスをし、安全チェックを行っています。離れていても医局が一丸となって安全な歯科口腔外科診療を行っていただけるよう、独自に「医療安全監視部門」を設けています。

口腔がん検診の普及を推進

胃がん・肺がん検診があるのはよく知られていますが、口の中にも頬粘膜がんや、舌がんなどができることを3割の方がご存知ないのが現状です。小さな舌がんであれば単純な切除手術ですみます。

昨年、「口腔がん検診」を松江と出雲で実施しました。今年は、正式に島根県の後援を得て、さらに松江・出雲・浜田・益田で無料実施することになりました。行政と一体になって行うのは全国でも初めてです。みなさんにもこの機会にぜひ受検していただければと思います。

詳しくはWebで

島根大学病院は全国から注目されています

形成外科 はやしだ けんじ 林田 健志 講師



本年6月に「形成外科」が設置されました。形成外科は生まれながらの異常や、病気や怪我などによってできた変形や欠損を改善する（治療する）外科です。細い血管を顕微鏡で見ながら繋げる「スーパーマイクロ手術」の技術をお持ちで、米国オハイオ州立大学の客員教授でもある診療科長の林田先生にお話を伺いました。

島根大学病院はどんどん良くなっている

2002年に本学医学部を卒業後、2016年4月に当院に着任しましたが、その変化に驚きました。明るい雰囲気になり、医師・看護師・職員が熱心に仕事をしています。以前の島大病院は「研究第一」という印象でしたが、現在では「患者さん第一」の視点になっていると思います。具体的に言えば、コンシェルジュの配置など。他院では見かけません。たぶん、内部の人は気づいていませんが、こんなに新しいことを次々とやっているところはない。全国からいつも注目されていますよ。

形成外科にできることはたくさんあります

今、乳がんの患者さんが増えてきています。がんを切除後、諦めてそのままにしていらっしゃる方が多い。健康保険を適用して再建することができます（高額医療費適用で個人負担は7万～10万円位）。乳がん手術でリンパ節も取った場合、リンパの流れが悪くなり腕が腫れて浮腫になることがあります。当院では「リンパ管静脈吻合術」ができますのでリンパ浮腫も手術で

治療できます。

プラスの医療としての形成外科

形成外科の手術は、体の機能を回復させるために見た目をきれいに治す唯一の再建外科です。形成外科は精神外科とも呼ばれ、施術は心にも作用すると考えられています。顔面の変形や体表の欠損、あるいは、「ほくろ」一つに悩んでいても、手術をして心が前向きになることもあります。

診療科のこれから — 地域へ、世界へ

今後の抱負としては、県内全域、鳥取県の方々にも、もっと利用していただきたいです。体表に何らかの変形があれば、保険を使ってきちんとした治療が出来るので、お気軽に相談ください。

もう一つは、研究をしっかりとやって、患者さんに成果を還元したいと思っています。国内だけではなく世界を相手に戦える診療科となるために、一人一人の患者さんに形成外科の知識と技術を使って全力で治療したいですね。

皮膚科学講座教授 森田栄伸は、闇の中をさまよっていた。皮膚アレルギーの世界は謎だらけで、食物アレルギーの原因を突き止めることは、探偵の推理にも似ている。些細な現象を見逃さずそこにわずかな光を見出し、患者の疑問を解決するために、森田は臨床研究を続ける。

3 話 連 載

第1回

謎の小麦アレルギー

小麦アレルギー患者の奇妙な増加

運動をした後、まぶたが腫れ、じんましんが現れ、呼吸困難などの全身アレルギー症状になる。患者はいずれも、運動の前に小麦を含む食品を口にしていた…。

島根大学病院の皮膚科外来では2007年から、このような患者が増え始めた。2009年頃には全国で同様の症例が多数報告される。患者は圧倒的に女性が多かった。

最新の小麦アレルギー診断キットで診断できない!

皮膚科教授 森田栄伸は、このような患者を『 ω -5 (オメガ-ファイブ) グリアジン』で検査した。これは森田らが独自に開発した精度の高い小麦アレルギー診断キットで、その有用性はすでに世界中で認められていた。

「また陰性!」

小麦アレルギー患者は、従来の小麦IgE検査では陰性となっても『 ω -5グリアジン』では陽性になるはずだが、この患者もまた陰性。確認のため行った小麦負荷試験でアレルギー症状が確認された。

この1、2年、同様の患者が増え、謎は深まるばかりであった。暗く、長い迷宮の中にいるようだった。

そんなことが続いていたある日、電話が鳴った。ある小麦アレルギー患者からの問い合わせだった。

「半年前から使っている洗顔石鹸の成分表示に「水解小麦末」とありますが、使用を続けても大丈夫ですか。」

—その石鹸とは、『茶のしずく*』であった。

*2011年12月まで製造販売していた(旧)茶のしずく。現在販売している商品には、「水解小麦末(加水分解コムギ)」は含まれていない。

発症メカニズムの検証

「茶のしずく石鹸と小麦アレルギーが関係あるのか?」

森田は、皮膚科の千貫祐子講師とともに茶のしずくと小麦アレルギー発症のメカニズムを検証していった。

1. 『 ω -5グリアジン』検査で陰性となる小麦アレルギー患者たちは、皆一様に、『茶のしずく』使用者である。
2. この石鹸を使用する間に、成分に含まれる加水分解コムギが皮膚や粘膜からごく微量に体に吸収され、アレルギーを引き起こす加水分解コムギIgEが産出される(これは、体内でアレルギーが発症する準備が整う、ことを意味する)。
3. このような状態で、小麦を含む食品を摂取すると、加水分解コムギIgEが小麦タンパク質と交差反応して、さまざまなアレルギー反応が起こる。

—闇の中に、ひとすじの光が見えた。

事件の全容解明へ

「原因は石鹸だ!」

謎の小麦アレルギーの原因を国内でいち早く特定した森田は、日本アレルギー学会に報告を行った。その後、国民生活センターは同石鹸の使用中止を呼びかけ、販売者は販売中止と商品回収を行った。販売数は約4,650万個、使用者は約467万人、被害者は2,000名以上に上った。

2012年、森田は千貫講師と共著により、アレルギー国際雑誌にそのメカニズムを詳らかにした論文発表を行った。

現在、彼は、日本医療研究開発機構の資金援助を得て、「茶のしずく」による小麦アレルギー患者の根治を目指す臨床研究を進めている。

森田の闘いはまだ終わらない。次回はどんな謎を解いていくのか。乞うご期待!



皮膚科学講座 教授 森田 栄伸



最初から「在宅」をあきらめないで

おくの まこと
社団医療法人ホームクリニック暖 院長 奥野 誠



私の目標は、在宅療養を望む方の大半が、その希望を実現できる地域社会をつくることです。現状では独居や老老介護、仕事をしながらの介護などは、かなり困難を抱えています。もちろん、そうでない家庭でも、家族の大きな介護負担の上に、在宅療養が成り立っているのが現実です。

まずは、医療・介護サービスを充実させていくことは避けられないと感じています。同時に、大変だから無理とってしまう患者様やご家族の不安感や負担感の払拭にも取り組んでいく必要性を感じています。

今の出雲では、24時間対応、看取り対応が可能な在宅診療所も普及してきております。24時間対応の訪問看護ステーションもあります。優秀なケアマネージャーさんや、生活を支えてくださるヘルパーさんもおられます。

困難と思われる要因を一つ一つひもとして、どうやって克服していくのかを一緒に考えて行きたいと思っています。



おなかの音を聞いています



私のここだけの話

「猫の異物誤飲」

たけした はるお
法医学講座 教授 竹下 治男



元気になったルルちゃん

今年連休前の出来事でしたが、愛猫ルルちゃんが、嘔吐を繰り返し動かなくなるなど調子をくずし、出雲市内動物病院へ受診、血液検査等をするも原因が分からずじまいでした。妻、娘（高1）、姉妹猫のミアちゃんみな憂鬱なまま連休を過ごし、連休明けに妻が電車で鳥取大学動物医療センターへ赴くことになり、診ていただきました。

その結果、胃の幽門部から十二指腸に入ってすぐの部位に直径 17mm、長さ約 40mm の異物（以前に飲み込んだ布状のボールに毛がからまったものと判明）が見つかり、内視鏡で異物の除去を試みるも、異物が大きいため最終的に開腹による異物の摘出手術を行いました。術後からすぐに機嫌がよくなり、2日間の安静入院を経て退院しました。

猫の回復後は妻、娘、ミアちゃんも憂鬱から解放され、猫の方が小生より大事?なことも実感しましたが、ペットの家族への影響の再認識など想定外を経験させていただきました。



呼吸器・化学療法内科
全雪霞さん



今回は**中国**からいらっしゃっているドウ セツカさんに母国について紹介していただきました。

こんにちは。全雪霞(ドウセツカ)です。中国の寧夏(ねいか)回族自治区銀川(ぎんせん)市から2016年6月に島根大学にきました。呼吸器・化学療法内科で学んでいます。寧夏回族自治区は、平成5年に島根県と友好協定を締結した島根とかわりの深い地です。自慢は Sand Lake (砂湖) です。砂漠と湖と湿地からなる観光区。紺碧の湖と黄色い砂のコントラストは賀蘭山を背景に素晴らしい景観を生み出しています。食自慢の枸杞(クコ)は日本では杏仁豆腐のトッピングに使用されますが、血圧や血糖の低下作用、抗脂肪肝作用などがあります。他にも西夏王陵の遺跡など歴史的遺産が多く、ぜひ皆さんにも一度訪れてもらいたいと思います。

砂湖
砂と水が融合する
奇跡の湖。
緑色は葦が湖面に生えたもの。



枸杞 (Chinese wolfberry) の実
クコは果実、葉、根皮とも古くから漢方薬や民間薬として利用されています。



イベントなどのお知らせ

島大病院 ちょっと気になる健康講座

島大病院には、専門知識を備えた、医師をはじめとする様々な職種の職員が医療・医事業務に携わっています。

当院に来院される患者さんや一般市民の方の健康づくりにすこしでもお役立ていただきたいとの思いから、健康や医療に関するミニ講座を定期的で開催しています。予約不要で途中参加・退出も自由です。どうぞお気軽にご参加ください。

実施内容は下記のとおりです。

対象 患者さんほか一般市民 **場所** 外来1階 外来待合ホール
時間 11:00~11:30



回数	月日	担当	講師	テーマ
第187回	10月 5日(木)	乳腺・内分泌外科	百留 美樹	乳がんの治療について
第188回	10月16日(月)	産科・婦人科	中村 康平	遺伝性乳がん卵巣がん症候群について
第189回	10月19日(木)	検査部	吉富 裕之	心臓超音波検査(心エコー検査)でわかること
第190回	10月26日(木)	看護部	澤田 範子	入院したときから退院後の生活について一緒に考えましょう
第191回	11月 2日(木)	泌尿器科	中西 雄亮	腎がんについて
第192回	11月 9日(木)	耳鼻咽喉科	清水 保彦	未定
第193回	11月16日(木)	栄養治療室	青山 広美	【知ってますか?冬の食中毒】
第194回	11月30日(木)	呼吸器外科	岸本 晃司	からだにやさしい手術
第195回	12月 7日(木)	皮膚科	金子 栄	乾癬は感染しない皮膚病です。
第196回	12月14日(木)	歯科口腔外科	服部 政義	お口の病気シリーズ(6)
第197回	12月21日(木)	薬剤部	中村 健志	炎症性腸疾患とおくすり~薬剤師からのアドバイス~
第198回	12月28日(木)	肝臓内科	佐藤 秀一	進歩した肝炎治療

病院ボランティアコンサート開催予定

- 10月13日(金)19時より 出雲ハーモニカ同好会 **開催場所**: 附属病院1階外来待合ホール
- 10月27日(金)19時より 出雲ルビーズ
- 11月17日(金)19時より 創作朗読楽団「Repos(ルボス)」
- 12月 8日(金)19時より 島根大学 混声合唱団
- 12月22日(金)19時より 島根大学病院トウキョウ木管五重奏団



島大病院 ちょっと気になる健康講座 放送予定 (出雲ケーブルビジョン)

平成29年10月放送 脳神経外科 江田 大武 助教
 放送内容: 頭痛、頭部外傷について

11月4日(土) 世界糖尿病デー

糖尿病週間行事講演会

入場無料
予約不要

場所: 出雲文化伝承館 多目的ホール

11月4日(土) 13:30 ~ 16:00

●糖尿病健康相談や健康チェックもあります。

国宝出雲大社御本殿ブルーライトアップ

場所: 出雲大社御本殿

11月4日(土) 18:00 ~ 20:00



高度外傷センター棟が稼働開始しました!

2017年8月、医学部附属病院C棟西側に高度外傷センターが完成し、運用を開始しました。1階に外傷初療室(3床)とハイブリッドER(国公立大学初導入)を継ぎ目なく配置し、最新の外傷治療システムの粋を集めたユニットは世界初導入です。2階には医局、3階には手術室を2室新設しました。

ハイブリッドERでは、重傷患者の治療と検査を同室で実施できるため、患者移動に起因する出血や、タイムロスが最小限に抑えられ、さらなる救命率の向上が期待できます。

今後は「ドクターカー」も導入し、ひきつづき高度な外傷急性期医療を展開してまいります。



ニュース
NEWS & トピックス
TOPICS





島大病院 書籍のご紹介



島根大学病院の本 新刊のご案内

好評
発売中!

- 島根大学病院の今と最新治療をこの一冊に凝縮!
- 診療科ごとにわかりやすい説明!

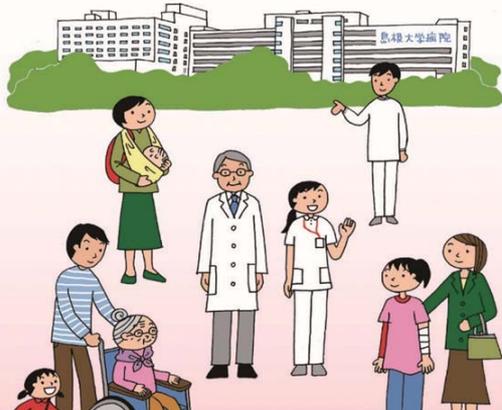
あなたの健康のために

—島根大学医学部附属病院の最新治療



あなたの健康のために
—島根大学医学部附属病院の最新治療

島根大学医学部附属病院 編著



Shimane University Hospital

高度医療を駆使して、地域の皆さまの健康を守る

医師、看護師、メディカルスタッフたちが
病気や治療についてやさしく解説

バリューメディカル

52項目

編著：島根大学医学部附属病院 発行：バリューメディカル 発売：南々社
A4判/並製本/120項/オールカラー 定価：本体1,480円+税



本誌インタビュー登場の
形成外科 林田健志 先生
のスーパーマイクロ手術
など、当院の最新治療の
すべてを詳しく紹介!

県内主要書店、島根大学生協、院内ローソンでお取り扱いしています。

編集後記

特集インタビューに登場された関根先生と林田先生は、ともに長崎県出身です。島根出身の永井隆博士の功績にもよるのでしょうか、島根と長崎は医学の交流が大変盛んだということです。

古事記によると、島根は日本の医学の発祥地とされ、長崎は日本に初めて西洋医学が伝来した地です。これも何かのご縁かもしれません。

進取の気性に富むお二人の先生のお話を聞き、島根大学病院の医の扉はこれからも世界へと、未来へと開かれていると感じました。

次号は来年1月発行予定です。

【編集者より】



島根大学医学部附属病院広報誌

しろうさぎ

についてのお問い合わせ先



(このQRコードで携帯から島根大学病院ホームページが見られます!)

医学部総務課 企画調査係 広報担当

☎ 0853-20-2019

✉ mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

🌐 <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>